

かけはし vol. 90

宇治武田病院
令和7年10月発行



特集

画像診断検査・放射線治療で 地域医療に貢献

宇治武田病院 地域医療連携室

[ホームページはこちら▶](#)

TEL: 0774-25-2062 (直通)

FAX: 0774-25-2660 (直通)

月曜日～金曜日/8:30～17:00

土曜日/8:30～12:45

※日曜日・祝日・年末年始はお休みさせていただきます。



理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

環境方針

- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R（減らす、再使用、再資源化）の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進

地域と共に創る放射線医療

画像診断検査・放射線治療 宇治武田病院の取り組み

放射線科は、病気を「見つける」画像診断と「治す」放射線治療の両面で医療を支えます。当院では、役割分担を明確にし、地域医療機関と連携して患者さん一人ひとりに合わせた医療を目指しています。



高度で専門的な画像診断検査 迅速かつ正確なレポートを 心がけています

当院で行われる画像診断検査（CT・MRIなど）は、放射線科医師と診療放射線技師が協力し、高度で専門的な画像検査を提供することに努めています。

診断に適切な画像を得られるよう撮像範囲や撮像方法を定めるだけでなく、年齢や疾患などを考慮した被曝量の管理（AIを用いた被曝低減システム）も行い、症例に合わせた最適な撮影方法を行えるように注力しています。

一般的な頭部や脊椎、胸腹部の検査だけでな

く、心臓CTや四肢領域、軟部、歯科領域の疾患など全身の疾患を網羅して対応しています。

当院でのCT・MRI検査の読影体制は、月～金曜日は3名の常勤放射線科診断専門医によって行われ、土曜は1名の放射線科診断専門医によって行われています。翌診療日までに全件読影しており、至急対応が必要な症例に関しては検査完了から1時間以内にレポートを作成しています。地域医療機関との連携も積極的に行っており、多くの紹介検査を実施しています。紹介検査での即日検査も可能な限り対応（CTはほぼ全例、MRIは予約の空き次第）しています。

検査からレポート作成までを当日中に迅速かつ正確なレポートの作成に努めるだけでなく、必要であれば紹介医院からの電話での質問にも対応しています。

主たる撮像機器は、3T-MRIシーメンス[®]（株）、1.5T-MRI キヤノンメディカルシステムズ（株）、X線CT装置（80列） キヤノンメディカルシステムズ（株）を使用しており、このうち1.5T-MRIは今年秋に新機種に更新されます。

機器更新によってさらに対応可能な検査の幅が広がり、非造影での四肢の血管撮像なども高いレベルで行えるようになる予定です。

放射線科 部長 増南 輝俊

さまざまな放射線治療ニーズに 応えていきます

当センターでは2007年4月に近畿エリアで初めて「トモセラピー」を導入し、高精度放射線治療、強度変調放射線治療（IMRT）に力を注いでおり、現在はこの最新プラットフォームである「トモセラピーラディザクト」を運用しています。

トモセラピーは、がんと正常組織が入り組んだ状態においても、腫瘍の形状に合致した線量分布を作成し、正確に照射できる優れた治療器です。これらを駆使し、がん治療の課題である「根治性を高めること」、「患者さんの侵襲をいかに少なくするか」の両立を追求しています。

がんと診断された後は、速やかに治療を開始することが望ましいと考え、当センターでは、このような需要にお応えできるよう、専門医による迅速な意思決定と柔軟な予約対応努力を重ねてまいりました。今後も地域のご期待に添えるよう、更なる強化を図っていききたいと思っています。

今日のがん治療は、免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬が普及し、治療の考え方が大きく変わってきています。こうした変化に適切に対応していくことが重要と考えます。武田病院グルー

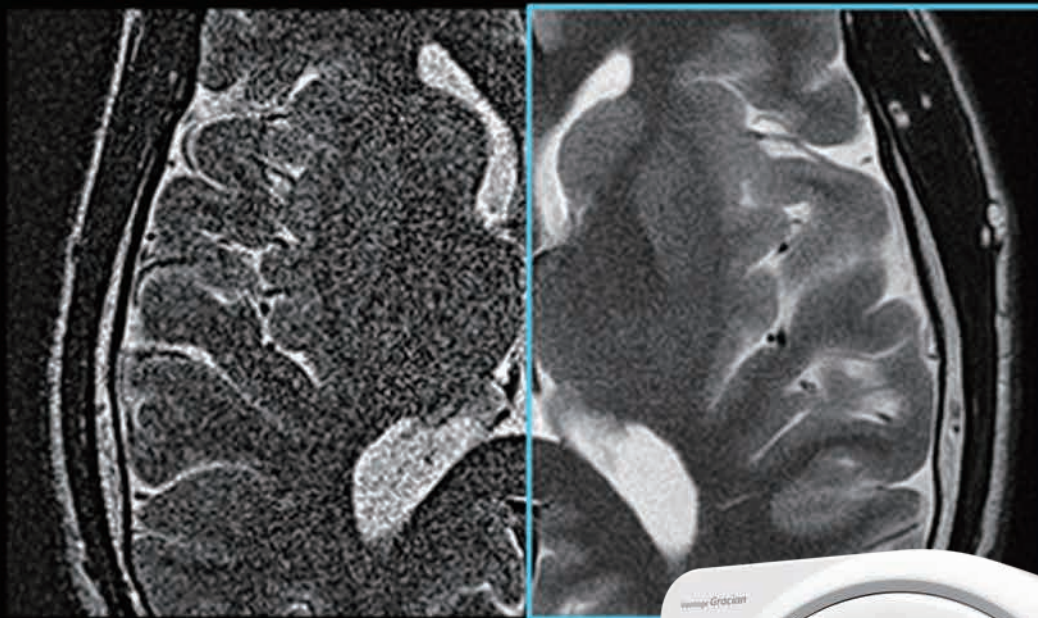
プでは、各病院、各診療科が協力し、お一人おひとりの患者さんを治療する体制の強化に注力しています。我々は放射線治療の面から、地域の皆さまに貢献していきたいと考えています。

高齢化の進行や併存疾患などにより治療選択に制約のあるような病態においても、根治性を維持しつつ、より侵襲の少ない放射線治療を提供できるよう努めてまいります。地域の先生方におかれましては、是非お気軽にお声がけいただければと思います。

放射線治療センター 部長 橋本 泰年



AIなし



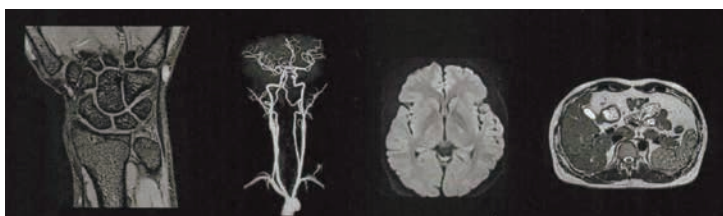
AIあり

AI技術を搭載したMRIを導入

2025年10月より、新しい1.5テスラMRIが稼働します。今回導入するMRIは、AIを用いた高画質化技術を搭載しており、従来のMRIは高画質を求めると検査時間が延長、短時間を求めると画質が劣化するというジレンマが解消され、従来と比べ患者さんへの負担を増やすことなく高品質な画像を提供することができ、診断の質を向上させることができます。



Vantage Gracian
キヤノンメディカルシステムズ株式会社



AI技術を適応したMR画像

新しいユニフォームで心機一転



令和7年8月より、医療スタッフのユニフォームを、より機能的で快適なものに一新いたしました。患者さんに、より快適で安心して医療を受けていただけるよう、機能性とデザイン性を重視しました。患者さんのためにより良い医療環境を創造できるよう、スタッフ一同気持ちを新たに医療に取り組んでまいります。